

「富富富」情報(第5号)

水管理と病害虫防除で高品質な米に仕上げましょう！

生育概況

- ・幼穂形成期は、5月8日田植えで7月8日頃となりました。
- ・今後、平年並みの気温で推移した場合、**出穂期は7月31日頃**と見込まれます。

1 出穂期以降の水管理

稲体の活力を維持し、胴割米の発生を防ぐため、**出穂期以降20日間は湛水管理**、刈り取り5～7日前までは**間断かん水**を行い、適正な土壤水分を保ちましょう。

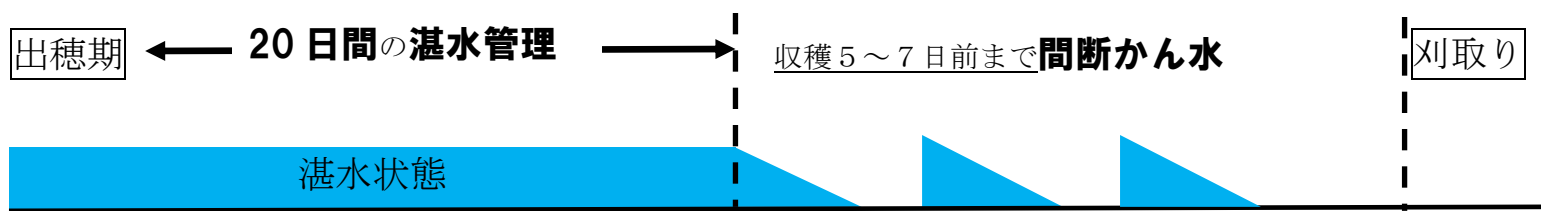


図 水管理のイメージ

2 病害虫防除

生育期間を通しての化学合成農薬の成分使用回数が12以内となるか、必ず確認してください。

表 防除体系

防除時期 (7/31 出穂)	薬剤名	成分数	使用量 (10a 当たり)	対象病害虫
穂揃期 (8/2～4)	ラブサイドキラップ粉剤 DL	2	4 kg	いもち病, カメムシ類, ウンカ類
	ラブサイドキラップフロアブル	2	希釈倍数 500 倍 使用液量 100ℓ	いもち病, カメムシ類, ウンカ類
傾穂期 (8/9～11)	スタークル粉剤 DL	1	3 kg	カメムシ類, ウンカ類
	スタークル液剤 10	1	希釈倍数 1000 倍 使用液量 100ℓ	カメムシ類, ウンカ類

定期的にはほ場を見回り、漏生稲や異茎株を抜き取ってください。



漏生稲：条間に発生する株



稈の長短（抜き上がり）



熟期の異なる稲（出穂が早い）